2008年

第8回東京配田ヶ丘同窓会総会

「母校・家族・仲間たちへの感謝と出会の場」

奄美高等女学校・大島農業高等学校・名瀬高等学校
大島実業高等学校・奄美高等学校

＜出席者名簿・会則付＞

◈日　時　　2008年4月27日(日) 正午開会

◈場　所　　北区赤羽会館

式 次 第

総合司会・事務局長　津 田 和 紀

第一部　総　会

オープニング　祝舞　長唄「獅子の乱曲」……藤 間 流　藤間　貴盛
1. 郷土遥拝・物故者黙祷……全　員
2. 校歌斉唱（大島実業高校・奄美高校校歌）……全　員
3. 開会の辞……相 談 役　住　誠一郎
4. 会長挨拶……会　長　和田　純男
5. 議　事
   (1) 議 長　司会者（兼）津田　和紀
   (2) 会 務 報 告……幹 事 長　弓削　省三
   (3) 会 計 報 告……会 計 長　中野保志乃
   (4) 会計監査報告……監 査 役　熊本　邦弘
   (5) 予算案提案……幹 事 長　弓削　省三
6. ご来賓紹介……幹 事 長　弓削　省三
7. 祝　辞……鹿児島県立奄美高等学校教頭　増利　裕之
8. 〃……本部配田ヶ丘同窓会会長　恵原龍三郎
9. 〃……関西配田ヶ丘会会長　利　収亜騎
10. 〃……関東安陵会会長　英　辰次郎
11. 〃……衆 議 院 議 員　徳田たけし
12. 母校90周年記念講演内容（記事）……相 談 役　我謝みどり
13. 祝電披露……副会計長　前田美智子

第二部　懇 親 会

司会・歌　手　嶋　あきら
幹　事　米田リエ子

◆ア リ ア……ヴェルディ「エルナーニ」……要　陽子
◆乾　杯……副 会 長　小勝　竹雄

＜しばらく歓談＞

◆余　興
①踊り、合唱、その他……各卒業年次
② New Comer 舞台集合……初 参 加 者
③歌 謡 曲……「島ごころ・ど根性」　島　あかり
④歌 謡 曲……「海峡挽歌・薩摩半島」　橘　みどり
⑤歌 謡 曲……「奄美の夜・最後のかざり絵」　嶋　あきら
⑥島　唄……「朝花節・その他」　福山良仁、脇田真由美
⑦ビンゴゲーム……要　博文
⑧渋谷・鹿児島おはら祭りパレード曲踊り……蝦名　和代
「おはら節・ハンヤ節・渋谷音頭」
⑨配田ヶ丘八月踊り……「島のブルース・浜千鳥・奄美小唄（赤木名観音堂）さんだ蒔け・さんだ蒔け崩し」向　百代・米田エリ子
⑩六　調……参加者全員、福山良仁、脇田真由美
◆閉会の辞……実行委員長　要　博文
◆万歳三唱……副実行委員長　昇　勝美

ご 挨 拶

東京配田ヶ丘同窓会
会 長 **和 田 純 男**

第８回東京配田ガ丘同窓会をこうして開催できますことに、先ずは会員の皆様方とともにこころからお慶び申し上げます。

本日は、大変ご多忙のなか、母校の奄美高校から増利裕之教頭先生、松島伸子先生、本部の配田ヶ丘同窓会から恵原龍三郎会長、そして関西配田ヶ丘会同窓会から利収亜騎会長および要田事務局長他幹部の方々、関東安陵会から英辰次郎会長および池田秀秋幹事長ほか幹部の方々と東京奄美会の幹部の方々、北区立梅木小学校副校長（前東十条小学校の副校長）大瀧浩二先生等々多数のご来賓のご出席をいただき、会員一同心から厚く御礼申し上げます。

さて、当配田ヶ丘同軍会はご案内のとおり、第８回を迎えることとなりましたが、800 余名を擁する実に頼もしい同窓会に発展しております。弓削省三幹事長と津田和紀事務局長を中心として、数回役員会を持ち、貴重な意見を集約する中で、今年は要博文実行委員長のもとでこの総会を開催することとなりました。

昨年は、母校奄美高校の創立 90 周年の年でありました。多くの会員の皆様から物心両面のご支援をいただき、あらためて心から感謝とお礼を申し上げます。本部配田ヶ丘同窓会では、実行委員会を組織するなかで、実行委員長を中心として委員の皆様には、大変ご苦労があったと想像しておりますが、90 周年にふさわしいすばらしい内容であったと好評を聞いております。当東京配田ヶ丘同窓会からも私を含め 13 名の参加をしております。

中でも大変好評だったのが当会の相談役であります我謝みどりさんの記念講演であります。データをもとに今の時代に合った内容で、説得力があり、生徒や父兄そして関係者で約 1000 人の会場が静かにしかも熱心に聞き入っていました。

当会では、就職相談室を設けております。顧問や会長他役員で組織構成し、会員や後輩達により良いアドバイスが可能な範囲で出来るのではないかと思い設けたものであります。現在、実績はありません。

また、念願でありました東京配田ヶ丘ホームページを開設しております。まだ十分なご利用にはお答えできておりませんが、当会の目的であります会員相互の親睦をより一層深めるための情報を提供できるものと考えております。「東京配田ヶ丘同窓会」で検索ができますのでご利用ください。

さて、当会の活動方針でありますが、「家族ぐるみで親睦」をはかるものの具体化を目指しております。そのことは、会則にありますように「会員相互の親睦」がより豊かに図れるのではないかと思っているからであります。

具体化には、役員会にはかり検討しなければなりませんが、たとえば、運動会の実施、渋谷おはらまつりへの参加、餅つき、カシャムチ作り等であります。どんな行事でも、一人ひとりの熱意と実行力さえあれば実施できるものだと思っております。是非会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。今年は、５月 18 日に実施されます「渋谷おはらまつり」への参加を役員会で決めております。ご参加をお待ちしております。

東京配田ヶ丘同窓会の会員ご家族の皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに当会へ今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

祝　辞

鹿児島県立奄美高等学校
校　長　川　畑　辰　男

第８回「東京配田ケ丘同窓会総会」が開催されるにあたり，一言ご挨拶を申し上げます。

同窓会の皆様方には日頃から母校のためにご尽力いただいておりますことを，この場を借りまして深く感謝を申し上げます。また，お招きいただきましたこと誠にありがたく存じます。

私はこの４月に新任校長として着任いたしましたが，奄美高校は新規採用教員として昭和50年４月から５年間勤務した経験がございます。今またこうして２回目の勤務ができる幸せを感じています。４月８日には全日制250名，定時制21名の新入生と19名の新任の先生方を迎え，入学式を挙行しました。現在学校は，図書館や新校舎を建築中ですべてが完成するのは，21年度末か22年度始めになる予定です。完成した暁にはすばらしい教育環境が整うことと思います。

さて，昨年度は，11月10日に奄美本島内外より多数の来賓の方々，並びに同窓生・PTA会員のご臨席をいただき，本校創立90周年記念行事が盛大に挙行できましたことを，改めて厚く御礼申し上げます。記念式典での生徒たちのしっかりとした態度に来賓・同窓生の皆様方がそろって感動されました。続く記念講演では，我謝みどり先生（29年卒）が「今を大切に生きる……一人一人輝いて……」と題して，高校時代がいかに大切であるかを，自分の経験や社会の現状にふれながら，心に響くお話をしていただきました。午後から奄美観光ホテルで行われた記念祝賀会も盛況でありました。オープニングでの郷土芸能部の演奏が感動を与え，先輩たちの母校に寄せる熱い思いに感銘を受けました。

今後，新設奄美高校に新しい風を吹き込み，さらなる伝統を築き上げていくために，在校生・職員一丸となって取り組み，皆様の期待に応える所存でございます。同窓会の皆様には，どうか今後とも母校のためにお力添えをくださいますようお願いいたします。

東京配田ケ丘同窓会の，ますますのご発展と皆様方のご健康ならびにご活躍を記念し，ご挨拶といたします。

祝　辞

名瀬配田ヶ丘同窓会
会　長　**恵　原　龍三郎**

東京配田ヶ丘同窓会の会員に皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。また、本日ここに東京の平成20年度第8回の総会が会員の皆様多数のご出席のもと盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

さて、昨年は母校奄美高校の創立90周年という節目の年でした。11月10日には創立90周年記念事業として式典・講演会・祝賀会などの記念事業がり、東京配田ヶ丘同窓会からも和田会長様をはじめたくさんの会員の方がｇ出席いただき、記念事業が盛大に行われ無事終了することができました。誠にありがとうございました。

また、我謝みどり先生におかれましては大変お忙しい中、講師を快くお引き受け頂き生徒達にすばらしいお話をしていただきました。本当に有り難うございました。重ねて心からお礼申し上げます。

さて、今回の創立90周年記念事業は本格的に活動したのは2年前で、記念事業の目玉として後輩達がいい環境のなかで勉強できるように新校舎に空調設備を導入を掲げ、募金活動を主体に活動してきました。目的の募金額には及びませんでしたが、東京配田ヶ丘同窓会の会員の皆様をはじめたくさんの方々からご支援を頂き1千600万円の募金が集まりました。本当に有り難うございました。本来ならばお一人お一人にお礼状を差し上げなければならないのですが、今回は少しでも空調設備導入資金にしたいと考えて、お礼状を省かせて頂きました。この場をかりましてお詫び申し上げます。

ところで、配田ヶ丘同窓会は母校の奄美高校が大正6年に創立して以来、重厚な歴史と伝統に育まれ、卒業生2万2千有余名の強い絆を誇る同窓会組織になってきました。これも、卒業生の皆さん特に東京・関西の会員の皆さんが故郷奄美を離れ、厳しい時代に異境の地で故郷奄美の美しい野山、海、そして母校である奄美高校、また両親、兄弟の姿を思い浮かべながら、激動の中で家族のため、頑張ってこられた賜だと思います。これからも母校そして同窓会にご協力・ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。また、今年度もたくさんの後輩達が東京方面へ来ています。連絡がありましたら是非あたたかく迎えいれて下さるようお願いいたします。

さて、私事ですが6年間本部同窓会の会長を、そして2年前に創立90周年記念事業実行委員長という大役が廻ってきて、自分自身大丈夫かなと心配しながら引き受けたのですが、皆さんのご協力により、どうにか大過なく無事終わることができそうです。この6年間東京配田ヶ丘同窓会の皆さんには大変お世話になりました。人と人のつながりがどれだけ大事かということを感じ、何よりも奄美人（あまみんちゅ）の心のあたたかさを先輩達から教えてもらい大変勉強になりました。7月で任期は終わりますが、これからは商業部会の担当として、同窓会を側面から応援していきたいとおもいますので今後とも宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、本日お集まりの皆さんのご健康とご多幸そして東京配田ヶ丘同窓会の今後ますますのご発展を祈念して簡単ではございますが会長としてのご挨拶と致します。本日は誠におめでとうございます。

祝　辞

関西配田ヶ丘同窓会
会　長　**利　収亜騎**

第８回東京配田ヶ丘同窓会総会、おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。
私も会長就任以来、貴会に出席させて頂き、会を重ねるごとに多くの人達との出会いがあり、楽しい思い出がたくさん出来ました。

今年も和田会長を中心に「母校・家族・仲間たちへの感謝と出会いの場」をテーマに盛大に開催されますことを祝福申し上げます。弓削幹事長の奥様の在りし日のことを書かれた追悼集「立りぃば　水ぬはりゅり」を拝読させて頂き、人間は白分のことより「基本的に人を信じ、愛し、そして感謝の気持ちと奉仕精神を持ち続けること」を身につけていますと、長い人生の中でいかなる境遇に陥っても現実を冷静に受け止め、寂しさや悲しさを土台にして、以前にも増して強く生きていくことができるのではないかと一冊の本から勉強させて頂いたような気がします。人生の最高の伴侶を亡くされても元気に活動されています弓削幹事長の姿を拝察しました時、心から敬意を表しますとともに小生も元気をいただき、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

昨年の母校の 90 周年式典に参加させていただきましたが、厳かで素晴らしい式典にただただ感動するばかりでした。式典の前日にともしび部会の役員たちと母校を表敬訪問いたしました。その時、野球部の監督さんを含めて４～５人の野球部員の生徒さんたちとお会いしましたが、まず、最初に感じたことは監督さんを含めて生徒さん達の透き通った目のきれいなことにぴっくりしました。純粋で素直にすくすく成長している子供たち姿を見て、母校の教育方針を少し垣間見ることが出来たような気がしました。若いことの素晴らしさ、私達にもあゝいう時代があったのだなあ、とちょっぴりうらやましく思ったことも事実です。

素晴らしい後輩たちに恵まれた私達は、先輩として後輩に何をすべきか、何を見せるかを考えました時、少しオーバーな表現かもしれませんが、配田ケ丘会は教育の現場の延長線とみなし、苦しい時も悲しい時も、また辛い時も自分を信じ、その苦しさが自分の誇りでもあり、生きている喜びだと思って、凛とした姿勢で社会に貢献している姿を伝えることも先輩としての役割ではないでしょうか？

今年の５月に会長の任期も終わり、執行部が「白百合会」に移行しますが、会長も決まり五つの部会が仲良く和をもって輪となり、頑張って行く所存でございます。
今後とも、倍旧のご指導・ご鞭撻をお願い申しあげ、貴会の益々のご発展を祈念いたしましてお祝の言葉とさせていただきます。

祝　辞

衆議院議員　徳　田　たけし

第八回東京配田ケ丘同窓会総会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。平素より皆様方には大変お世話になり深く感謝いたします。私の家内も奄美高校の卒業生であり、配田ケ丘同窓会のメンバーです。

昨年11月には創立九〇周年記念事業が行われており、長い歴史と伝統を持つ同窓会ですので全国各地にお仲間がいらつしやることでしょう。特に東京は出身者の方も多いのでたくさんの会員の方がいろいろな分野でご活躍なさっていることと思います。

さて、奄美でもいろいろな政治的な課題がありますが、今年は奄美群島振興開発措置法の延長に向けた取り組みが最も重要な課題となります。復帰翌年から約二兆円が投じられた奄振事業のお陰で道路や港、上下水道、農地改良など駄々な社会基盤が整備され、見違えるように便利になり、暮らしやすい島になりました。

しかし、依然として所得格差は大きく、未だに一人当たりの郡民所得は県民所得の九割、国民所得の七割にとどまっています。さらに近年は昨年二万反をきった大島紬の不振や公共事業が減額されており、人口減少が続いています。昭和30年には二十万人を超えていた群島の人口は現在十二万三千人にまで減っています。このまま人口減少が続くと奄美は滅び行く島になつてしまう恐れがあります。

元気な奄美を取り戻すためには奄振事業によって産業基盤を整備し、亜熱帯性の気候を活かした農林水産業の振興と共に世界自然遺産登録を実現させ、体験型、滞在型など新たな観光産業の創出、育成による観光振興に力を注いでいくべきだと考えています。

奄美には闘牛や島唄、八月踊りなど独自の伝統文化が殊されているほか、世界に誇れるさんご礁や美しい海浜、アマミノクロウサギなど貴重な野生生物の棲家である原生林も残されています。一昔前までは「自然で食べていけるか」という意見もありましたが、この残された自然を子や孫の時代まで守り、継承していくこそが奄美の生き残る道だと思います。

父・徳田虎雄徳洲会理事長は幼い弟を医者に見てもらえずに亡くしたことから、医者になることを決意、奄美を世界の離島医療のモデルにすると医療法人を立ち上げ、全国に病院を開設、都市部で挙げた利益と医者を離島に送り込むシステムを構築し、奄美のすべての島々に病院やクリニック、福祉施設を設立し、奄美でも都市部と同質の医療が受けられるようになりました。

高すぎる航空運賃や離島物価、台風などの気象災害、これらの課題を一つひとつ解決していかなければなりません。父が築き上げた安心して暮らせる島、訪れることのできる島を基盤に世界一の観光地・奄美を作り上げるために全力で取り組んで参る所存です。そのためには奄美に暮らす方々はもちろん島外で暮らす奄美の何倍もの出身者の方々のご意見が大きな力になります。どうか奄美のために皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

東京配田ケ丘同窓会の今後ますますのご発展とご一同様のご活躍、ご健勝、ご多幸を祈念申し上げ祝辞といたします。

奄美高校創立90周年記念講演
演題　「今を大切に生きる」
～一人一人輝いて～（講演内容抜粋）

講　師　**我　謝　みどり**
（大島女子高第3回卒）

ただ今ご紹介をいただきました我謝でございます。先ほどは素晴しい記念式典でございました。本校に縁(ゆか)りのある一人の卒業生として、このような機会を与えていただきましたことを大変光栄に思っております。

お話をする前にまず学校のことを知りたい、それから生徒の皆さんのことを知りたいと思いまして、学校要覧や皆さんのやっていることが分かる資料などを送っていただきましました。拝見しまして長い年月を得て私達がいた頃の時代に比べ、内外ともに立派になったことを実感いたしております。何より先ほどの式典において、在校生の皆さんがしっかりとした態度で約1時間近い時間、良くお話を聞いていたこと、そして、生徒代表の挨拶がとても素晴らしかったことが深く心に残っています。また、会場に入るときに、先生方が入り口からずっとご案内して下さいました。その明るい笑顔や態度が温かく、とても良い印象を与えてくださいました。さすがに奄美高等学校は素晴らしいです。このような先生方のもとで学ぶ皆さんの良さが納得できるとともに、実際に自分の目で見ることができ大変うれしく思いました。

【三つの能力について】

それでは本題に入ります。まず私は皆さんに、高校生はしっかりと勉強してほしいということを申し上げたいと思います。知識を沢山学ぶ、これも大事なことですけれども・学んだ知識の量ではなくて学んだことを活かす能力・これを身に付けることが大事であるというふうに思っております。この学んだことを活かす能力について、私は三つあると考えています。

－一つは「理解する力」、何でも物事は分からなければ始まらない。人の話をよく聞く、本をたくさん読む、調べるなどして理解する力を付けていただきたい。

次に「創意工夫する力」、本校の教育目標の中にも創造という言葉が有りましたね。創造し創意工夫する力が自分の生活、ひいては世の中を改革していくのに大事なことです。学習したこと、分かったことをそれだけに留まらず、より発展させ、自分で考えたり工夫したりする力を身に付けることが、これから、ますます大切になってくると考えます。

三つ目は「表現する力」です。考えることや工夫することが出来ても、それを表現できなければ自分だけのもので終わってしまいます。自分が思ったことや、工夫したことを文章にしたり、発表したり、作品に表わし、自分以外の人に伝えることのでき表現する力を身に付けていただきたい。

勉強するということは知識を沢山身に付けるということではなく、学習したことを活かし、これまで述べてきた三つの能力を身に付けて、自分の目標実現のために、今、しっかり勉強をしてくださいと申し上げたいのでございます。

更に、この三つの能力を伸ばためには、体験を通して学ぶということがとても大事だと思います。どうしてかと申しますと、体験するということにはプロセスがあるからです。プロセスとは、ものごとの始めから終りまでの過程のことです。その実践的過程においては、いろいろなことを考えたり工夫したり、感じたりして大切な事を学ぶことができます。例えば、皆さんの奄美高校ダイジェストの中の「チャレンジショップ」です。商業科と情報処理科の皆さんでなさったようですね。お店を出す準備から後片付けまでのプロセスにおいて接客のマナーや、言葉遣い、協力をすることの大切さなど、また、感謝の気持ちだとか、在庫の管理、宣伝の難しさなどもいろいろ勉強しましたと書いてありました。

「うん、これだ」と思いました。まさしくこれがプロセスで体験する大切なことなんですね。学習した知誠をいかして、それを実践の中で学んでいくという、このことを本校はいろいろと実践されておられます。今、求められている教育の大事なことを本校が実施されていることを大変嬉しく思った次第でございます。

【調査結果について】

この１、２年内に実施された調査結果についてお話します。そのひとつの全国学力調査を見ますと、知識を問う問題は良く出来ているけれども、それを活用する能力があまり良くないという結果が出ています。これを見ても知識ではなく、先ほどの３つの能力の大切さということが分かると思います。

次に、家で学習をどれぐらいしているかという調査結果を見ますと、家で親とよく話をしている子どもは、話をしない子どもに比べて勉強する時間が長いと出ています。結果として、勉強する時間が長いということは当然ながら成績もよくなるということです。また、親とよく相談したり、学校であったことを話したりしてコミュニケーションがとれている家庭の子どもの方が、勉強に打ち込む時間も長いという結果が出ていました。

次に、世界４カ国の高校生の意識調査を見てみますと、本当にびっくりしますのが、「偉くなりたいか」という質問に対して日本の子どもは、あまり偉くなりたいとか人生日標がないと暮らしていけないと考えている高校生が少ない。また、「大きな組織の中で自分の力を発揮してみたいか」という質問に対し、したくないと答え、暮らしていける収入があれば、のんぴりしたいと思っています。意欲をもって頑張るという、そういうことが今の日本の高校生には少ないことを示唆している調査結果であったというように思います。

本来、高校生というのは、夢や希望に燃えているものでございます。皆さんもそうだと思いますがエネルギーに満ちあふれている時でありますから、もっともっと意欲をもって、失敗してもいいじゃないですか、皆さんはまだ若いですからこれからいくらでもやり直せます。総理大臣とか裁判官などは偉い人ですが、こういう職業にはみんながなれるわけじゃありませんね。私は、自分の力に自信をもち、それを育てていくということがその人の偉さだと思います。社会にとっては偉い人も大切ですが、本当に国を支えたり社会を支えたりしていくのは一人一人の力だと思います。皆さんの力なのです。

私達の頃は、高校に進学できる人は数少なく恵まれた人たちでした。今、皆さんは多くの人が進学でき、大変恵まれていると思います。そういう恵まれた環境に甘えるのではなく、恵まれている

ということをもっと大切にして頑張っていこうという気持で、勉強していただければというふうに思っております。

【食生活の重要性について】

さて、皆さんは勉強することの大切さについて、これまでの話で分かったことと思いますが、その勉強を支えているということの一番大事なものが私達の食生活ではないでしょうか。これについてお話したいと思います。まず皆さんは毎日きちんと食事をとっていますか。特に、朝ご飯をしっかり食べていますか。うなずいている人が沢山いますね。今、青少年の食生活とか家庭生活のあり方が問われています。現在、お金さえあれば何でも手に入る便利で簡単にできる食事が沢山街には溢れていて、ついそこに手が出ていってしまう。そのことが私達の心や健康、学力に影響するということを、きちんと認識して食事をしていただきたいと思います。

「早寝早起き朝ご飯」ということが全国運動として各地で行われています。夜遅くまで起きていると、朝起きられず食欲が出ませんね。睡眠時間を充分とることが大切です。

それでは・朝食と学力との関係をみてみましょう。朝ご飯を食べている子どもの方が非常に学力が高く、また、体力も優れているという調査結果が出ています。このように食事はとっても大切です。きちんと朝ご飯を食べる食生活の習慣を身に付けるということ、食事の大切さに加え、家族のコミュニケーションを大切にする家庭生活を、ご両親をはじめ、家族みんなで築き、より良い家庭の環境作りに努めていただきたいと思います。

【終わりに】

東京都立高校（定時制高校）庭田君の話をして終わりたいと思います。

彼は、不登校がちで、勉強はあまり好きでなく、孤独で詩を書くことで救われていました。ある日、ごみ箱を見たＣ先生が、ノートの切れ端３枚に書いてある彼の詩に気付き、読んで心をうたれたことがきっかけで、校長、教育委員会、出版社など多くの人の認めるところとなり、履修科目「産業社会と人間」の副教材として採用されることになりました。

彼の詩は人の心をうつものがあります。例えば「カラス」という詩では、学校の授業を面白く感じることのできない彼が、頭が良く仲間と飛んでいられるカラスに「お前はちゃんと生きているよ」と語りかける。また、「同じ」という詩では「俺という人間は世界に一人だが、まだ一人になれていない」などと、自分をよく見つめた詩を書いています。皆さんは庭田君の詩をどう思いましたか。この話の中から、物を見る目、感じる心、更に、実践することの大切さと、自分に出来ることを育て続けることの大切さを、ぜひ学び取ってほしいと思います。

元都立教育研究所長の北澤先生は「子供を見る目、感じる心、育てる技」をもてと指導されました。Ｃ先生の子供を見る日、感じる心、育てる技が庭田君の生き方を大きく変えたのです。親も教師も子供の心をよく見とり、育てる技を持っていただきたい。

そして、皆さんには自分のもっているよさを十分発揮し、頑張ってほしいと願っています。

最後に、皆さんの一人一人の力が母校の発展、奄美の力になることを信じお話を終わります。

以上

会 務 報 告

2007年4月1日～2008年3月31日

＜2007年＞

4月30日	第7回東京配田ヶ丘同窓会総会 会員・ご来賓他　186名(会員155、来賓26、芸能人5)	北区赤羽会館 ＋会員子女6名
5月21日	第10回渋谷おはら祭り配田ヶ丘踊り協力	渋谷道玄坂
5月27日	関西配田ヶ丘に出席	尼崎ホテル・ホップイン
6月 2日	東京配田ヶ丘同窓会拡大役員会（第1回役員会）	和泉橋会館
6月16日	関東安陵会総会に出席	虎ノ門パステル
7月21日	本部配田ヶ丘同窓会総会に出席	奄美観光ホテル
8月 2日	奄美高校定時制・バスケット全国大会応援	千駄ヶ谷体育館
8月18日	奄美高校定時制・バドミントン全国大会応援	小田原アリーナ
10月13日	東京配田ヶ丘同窓会拡大役員会（第2回役員会）	和泉橋会館
11月10日	奄美高校創立90周年記念式典に参加	奄美市文化センター
11月18日	東京ともしび会総会に出席	東興会館

＜2008年＞

1月19日	第8回東京配田ヶ丘同窓会開催のために第1回実行員会および東京配田ヶ丘同窓会拡大役員会（第3回役員会）	和泉橋会館
2月 9日	第2回実行員会および東京配田ヶ丘同窓会拡大役員会(第4回役員会)	和泉橋会館
3月 8日	第3回実行員会および東京配田ヶ丘同窓会拡大役員会(第5回役員会)	和泉橋会館
3月22日	第4回実行員会	
4月12日	第5回実行員会および東京配田ヶ丘同窓会拡大役員会(第6回役員会)	和泉橋会館

会 計 報 告

2007年4月1日～2008年3月31日

収入の部		支出の部	
前期繰越金	400,856	第7回総会費	
第6回総会会費	807,500	〃 料理・飲み物	606,084
男性　69名×5,000＝345,000		〃 会場使用料等	72,400
女性　71名×4,500＝319,500		〃 案内状・プログラム	336,707
35歳以下9名×3,500＝31,500		〃 演芸出演料	121,000
年会費　6名×1,000　＝6,000		会議費	46,300
寄付金　来賓　26名＝250,000	458,000	対外活動費	266,330
会員　29名＝208,000		広告費	41,500
広告代（45件）	459,000	交通費	154,930
雑収入		通信・事務関係費	131,551
利息	834	振込受払費	1,060
		雑費	6,300
		次期繰越金	422,028
合　計	2,216,190	合　計	2,216,190

上記の通り報告いたします。

2008年4月27日

会　長　和田　純男　㊞
幹事長　弓削　省三　㊞
会計長　中野保志乃　㊞

監 査 報 告

2007年度の決算報告を受け、帳簿その他について監査しましたところ、誤りのないことを認め、上記の決算書に相違ないことを報告いたします。

2008年4月27日

監査役　熊本　邦弘　㊞

2008 年度予算（案）

2008 年 4 月 1 日～ 2009 年 3 月 31 日

収　　入	円	支　　出	円
前年度繰越金	422,028		
第 8 回総会会費	631,000	第 8 回総会会費	1,075,000
男性 55 名× 5,000 ＝ 275,000			
女性 70 名× 4,500 ＝ 315,000			
家族　3 名× 5,000 ＝　27,000		会議費	90,000
35 歳以下 4 × 3,500 ＝14,000		対外活動費	260,000
		広告費	45,000
		交通費	130,000
		女性部	50,028
寄 付 金（来賓および会員）	460,000	通信・事務関係費	130,028
広 告 代	460,000		
二 次 会	90,000		
		次期繰越金	283,028
総　　計	2,063,028		2,063,028

第７回 総会　ご来賓寄付者

4月27日（日） 北区赤羽会館

＜ご来賓＞　順不同

迫田　孝司様（鹿児島県立奄美高等学校校長）
郷古　園江様（恩師・元大島実業高校教師）
恵原龍三郎様（本部配田ヶ丘同窓会会長）
野沢　有徳様（東京住用会幹事長）
利　収亜騎様（関西配田ヶ丘会会長）
利　　久枝様（関西配田ヶ丘会会長・令婦人）
円若　秀徳様（関西配田ヶ丘会幹事長）
柿　　義人様（関西配田ヶ丘会顧問）
英　辰次郎様（関東安陵会会長）
池田　秀秋様（関東安陵会幹事長）
堀田　成子様（東十条小学校 PTAOB 会）
佐藤　持久様（東京奄美会会長）
平山　徳廣様（関東中部伊仙会会長）
山下　稔浩様（あまみんちゅ Com）
米崎　七郎様（東京奄美会相談役）
大里　哲二様（東京奄美会評議員）
豊島　敏夫様（東京奄美会前副幹事長）
向中野末子様（東京笠利会女性部）
宝村　晃永様（関東宇検村会顧問）
山田　道男様（奄美市東京事務所長）
本園　金盛様（奄美旅行センター社長）
鈴木　竹子様（里味　店主）
細川　俊子様（とし子　店主）
永野　　章様（東京奄美会前文化部長）

第７回 総会　会員寄付者

4月27日（日） 北区赤羽会館

＜会員＞ 順不同

稲留ヨシ子様（29・普通科）
我謝みどり様（29・普通科）
金井　洋子様（29・普通科）
福永　　満様（30・農業科）
山下　心一様（30・農業科）
西田富士雄様（30・農業科）
熊本　邦弘様（30・農業科）
村田　　健様（31・農業科）
平山　芳孝様（32・農林科）
中谷芙次恵様（32・商業科）
久澤　良子様（33・家庭科）
與倉　利秀様（37・機械科）
弓削　省三様（38・機械科）
蝦名　和代様（38・家庭科）
佐々木紀美子様（40・家庭科）
屋村　賢良様（41・電気科）
津田　和紀様（42・電気科）
泉二　弘明様（44・化工科）
大月由美子様（49・家政科）
川畑　信和様（36・定商科）
竹　　時雄様（28・定商科）
竹本　　登様（31・定商科）
和田　純男様（32・定商科）
小勝　竹雄様（33・定商科）
高橋美奈子様（35・定商科）
森山　好道様（35・定商科）
栄　　治様（35・定商科）
昇　　勝美様（41・機械科）
赤崎　義海様（37・定商科）
奥田　義光様（42・定商科）
東京ともしび会様
実高30会様（奄美実業高校 30 会）

＜年会費送金者＞ 順不同

和田　照子様（25・本　科）
大重　哲男様（27・農業科）
福島　和子様（33・家庭科）
中井　良子様（33・家庭科）
政本　光江様（33・家庭科）
黒米　拓郎様（34・農林科）
山下　清子様（33・家庭科）

＜寄贈・奄美黒糖酒＞●町田酒造株式会社様　　＜寄贈・ミ　キ＞●平食品工業所様

2008 年度総会・ご出席ご来賓＜順不同＞

鹿児島県立奄美高等学校	教頭	増利　裕之	様	関東安陵会	喜島　俊夫 様
鹿児島県立奄美高等学校	教諭	松島　伸子	様	〃	栄　宗二 様
元・大島実業高校教諭	恩師	郷古　園江	様	〃	田代　清和 様
元・大島実業高校教諭	恩師	東　俊二	様	〃	松元めぐみ 様
元・大島実業高校教諭	恩師	椎名美穂子	様	北区立梅木小学校	副校長　大瀧　浩二 様
元・大島実業高校教諭	恩師	清水リサ子	様	北区立東十条小学校	PTAOB 会　堀田　成子 様
本部配田ヶ丘同窓会	会長	恵原龍三郎	様	奄美市東京事務所	所長　山田　道男 様
関西配田ヶ丘会	顧問	柿　義人	様	東京奄美会	評議員　大里　哲二 様
〃	会長	利　収亜騎	様	東京笠利会	女性部　向中野末子 様
〃	令婦人	利　久枝	様	関東宇検村会	顧問　宝村　晃永 様
〃	事務局長	要田　吉光	様	東京住用会	幹事長　野沢　有得 様
衆議院議員	徳田毅事務所	徳田　美加	様	関東中部伊仙会	会長　平山　徳廣 様
関東安陵会	会長	英　辰次郎	様	奄美旅行センター	社長　本園　金盛 様
関東安陵会	幹事長	池田　秀秋	様	あまみんちゅ.Com	デレクター　山下　稔浩 様
〃		米崎　七郎	様	里味	店主　鈴木　竹子 様
〃		牧野三佐男	様	とし子	店主　細川　俊子 様
〃		永野　章	様	南海日日新聞社	東京支社長　牧　保夫 様
〃		豊島　敏夫	様		

東京配田ヶ丘同窓会役員

（任期・2007年4月～2009年3月）

顧　問　山下　心一（30年卒・農業科・与論町）

相談役　安田　幸雄（26年卒・農業科・知名町）
住　誠一郎（27年卒・農業科・住用村）
佐藤　持久（29年卒・農業科・与論町）
福永　満（30年卒・農業科・与論町）
西田富士雄（30年卒・農業科・与論町）
竹本　登（31年卒・定商業科・与論町）
佐藤　文子（27年卒・普通科・龍郷町）
稲留ヨシ子（29年卒・普通科・旧名瀬市）
金井　洋子（29年卒・普通科・宇検村）
我謝みどり（29年卒・普通科・与論町）

会　長　和田　純男（32年卒・定商業科・龍郷町）
副会長　村田　健（31年卒・農業科・与論町）
平山　芳孝（32年卒・農林科・和泊町）
小勝　竹雄（33年卒・定商業科・旧名瀬市）
久澤　良子（33年卒・家庭科・旧笠利町）

幹事長　弓削　省三（38年卒・機械科・旧名瀬市）
副幹事長　富田　浩吉（41年卒・機械科・伊仙町）
奥田　義光（43年卒・定商業科・大和村）
蝦名　和代（38年卒・家庭科・旧名瀬市）
高橋美奈子（35年卒・定商業科・旧笠利町）

事務局長　津田　和紀（42年卒・電気科・徳之島）
副事務局長　岩切　文三（38年卒・定機械科・龍郷町）
佐々木紀美子（40年卒・家庭科・旧名瀬市）
向　百代（45年卒・家政科・旧名瀬市）

会計長　中野保志乃（48年卒・家政科・旧名瀬市）
副会計長　前田美智子（53年卒・家政科・旧名瀬市）

監査役　熊本　邦弘（30年卒・農業科・旧笠利町）

幹　事　中谷芙次恵（32年卒・商業科・龍郷町）
森山　好道（35年卒・定商業科・旧笠利町）
川畑　信和（36年卒・定商業科・旧名瀬市）
米村啓次郎（37年卒・機械科・天城町）
久留　豊（37年卒・電気科・喜界町）
石附　道代（37年卒・家庭科・宇検村）
嶺山　勇（38年卒・機械科・伊仙町）
篤　光代（39年卒・家庭科・旧名瀬市）
田川ホズエ（39年卒・家庭科・大和村）
村田三千穂（40年卒・電気科・旧笠利町）
福田湯喜子（40年卒・家庭科・宇検村）
昇　勝美（41年卒・定機械科・旧名瀬市）
要　博文（42年卒・電気科・宇検村）
森本　耕（43年卒・機械科・旧名瀬市）
栗原美代子（44年卒・家政科・旧名瀬市）
牧園　幸一（44年卒・電気科・旧名瀬市）
初谷由利子（45年卒・家政科・旧名瀬市）
堀内　雪子（45年卒・家政科・旧名瀬市）
山田　建一（45年卒・電気科・旧笠利町）
橋本　玲紀（47年卒・商業科・旧名瀬市）
小川由美子（47年卒・商業科・宇検村）
米田エリ子（47年卒・商業科・旧名瀬市）
揖　照代（47年卒・商業科・旧名瀬市）
大月由美子（49年卒・家政科・龍郷町）
萩原　仁枝（51年卒・家政科・旧名瀬市）
村山みどり（60年卒・家政科・旧名瀬市）
原　寛子（60年卒・家政科・旧名瀬市）
永井　珠海（H7年卒・商業科・旧笠利町）
奥　真汐（H14年卒・情報処・旧笠利町）

計56名

出席者名

会員　144名
子弟　7名

◇全日制

26年	安田　幸雄	農業科	知名町
27年	林　正次郎	農業科	伊仙町
〃	住　誠一郎	農業科	旧住用村
〃	東　徳太郎	林業科	伊仙町
〃	保　達男	農業科	瀬戸内町
〃	丸井　文麿	農業科	龍郷町
29年	稲留ヨシ子	普通科	旧名瀬市
〃	住　幸子	普通科	旧笠利町
〃	我謝みどり	普通科	与論町
〃	金井　洋子	普通科	宇検村
30年	西田富士雄	農業科	与論町
〃	熊本　邦弘	農業科	旧笠利町
〃	山下　心一	農業科	与論町
〃	福永　満	農業科	与論町
31年	山下　政宏	農業科	与論町
〃	武田　耕平	農業科	旧名瀬市
〃	戸田　初枝	家庭科	与論町
〃	村田　健	農業科	与論町
32年	平山　芳孝	農林科	和泊町
〃	杉　茂蔵	農林科	与論町
33年	久澤　良子	家庭科	旧笠利町
〃	中井　良子	家庭科	宇検村
〃	永山　和麿	農林科	旧住用村
〃	豊山　董枝	家庭科	知名町
〃	福島　和子	家庭科	宇検村
〃	白土　晶子	家庭科	旧名瀬市
〃	政本　光江	家庭科	伊仙町
33年	里山　嘉秀	商業科	旧名瀬市
34年	平　園子	商業科	旧名瀬市
〃	早川　三郎	農林科	大和村
〃	黒米　拓朗	農林科	天城町
35年	熊本　柳子	家庭科	旧名瀬市
〃	有吉　正毅	農林科	旧名瀬市
〃	福山　京子	家庭科	旧名瀬市
37年	石附　道代	家庭科	宇検村
〃	馬場スマ子	家庭科	龍郷町
〃	麻野喜美代	家庭科	旧名瀬市
38年	弓削　省三	機械科	旧名瀬市
〃	嶺山　勇	機械科	伊仙町
〃	宮田美千枝	家庭科	旧住用村
〃	杉井　勝義	機械科	旧名瀬市
〃	和田　道子	家庭科	旧名瀬市
〃	蝦名　和代	家庭科	旧名瀬市
39年	岡山　照彦	機械科	旧名瀬市
〃	山田　幸子	家庭科	旧名瀬市
〃	朝野　末信	電気科	旧名瀬市
〃	貞元　敏文	機械科	宇検村
40年	村田三千穂	電気科	旧名瀬市
41年	村田　接子	家政科	旧名瀬市
〃	石川　幸枝	家政科	旧名瀬市
〃	篠原　悦子	家政科	旧名瀬市
〃	福山　良仁	機械科	瀬戸内町
〃	元嶋章三郎	機械科	宇検村

42年	要　博文	電気科	宇検村
〃	熊元　敏夫	機械科	旧名瀬市
〃	南　進	機械科	旧名瀬市
〃	成田由美子	家政科	旧名瀬市
〃	松　晋一	機械科	伊仙町
〃	椎名美穂子	家政科	徳之島
〃	内田　康夫	機械科	旧名瀬市
〃	津田　和紀	電気科	徳之島町
43年	達野　健一	機械科	旧住用村
〃	市川　幸子	家政科	旧名瀬市
〃	末川　清光	機械科	和泊町
44年	間　誠二	機械科	旧名瀬市
〃	中村　保	電気科	旧名瀬市
〃	向　卓郎	機械科	宇検村
〃	牧園　幸一	電気科	旧名瀬市
〃	渡辺　郁子	家政科	旧名瀬市
45年	山田　健一	電気科	旧笠利町
〃	栄　洋子	家政科	龍郷町
〃	向　百代	家政科	旧名瀬市
〃	堀内　雪子	家政科	旧名瀬市
〃	前田不二男	機械科	旧笠利町
〃	里　則和	機械科	瀬戸内町
〃	荻原ヒサ代	家政科	旧名瀬市
〃	永田美津代	家政科	旧名瀬市
〃	元田　康子	家政科	旧名瀬市
〃	山下　照江	家政科	宇検村
〃	泉原　康秀	化工科	旧名瀬市
〃	松本由美子	家政科	旧名瀬市
〃	喜入　道雄	電気科	旧名瀬市
〃	村田　芳郎	大島工業	旧笠利町
〃	初谷由美子	家政科	旧名瀬市
46年	吉田　裕子	家政科	旧名瀬市
47年	米田リエ子	商業科	旧名瀬市
48年	中野保志乃	家政科	旧名瀬市
49年	大月由美子	家政科	龍郷町
〃	吉田　松乃	商業科	宇検村
〃	中里　富代	家政科	旧名瀬市
〃	横山　和江	商業科	旧名瀬市
50年	川畑　弘子	商業科	龍郷町
〃	金森　真弓	商業科	龍郷町
51年	山田　幸代	商業科	旧名瀬市
〃	平　まゆみ	商業科	旧名瀬市
〃	奥村　綾子	商業科	旧名瀬市
〃	荻原　仁枝	家政科	瀬戸内町
〃	池畑　富義	商業科	瀬戸内町
〃	元井のりみ		龍郷町
〃	田代　和美		
〃	浜口かつよ		
〃	篠原もとこ		
52年	福田　好	家政科	旧名瀬市
〃	松田かつ子	商業科	旧名瀬市
53年	染井　吉洋	商業科	旧名瀬市
〃	作田　浩美	商業科	旧名瀬市
〃	高橋けい子	家政科	旧名瀬市
〃	染　美和子	白百合会	旧名瀬市
〃	泉原　俊一	商業科	旧名瀬市
〃	前田美智子	家政科	旧名瀬市
〃	落合かほり	商業科	旧名瀬市
〃	松本　清乃	商業科	旧名瀬市
〃	安陪　末子	商業科	旧名瀬市
54年	沢山　瑞江	商業科	大和村
56年	柳　良子	看護科	旧名瀬市
〃	赤崎　恵子	看護科	龍郷町
〃	不　明		
57年	武藤りえ子		旧名瀬市
〃	栄　智恵美	家政科	旧名瀬市

59年	脇田真由美	家政科	旧名瀬市
〃	池田加代子	商業科	大和村
60年	檜垣みどり	家政科	旧名瀬市
〃	原　寛子	家政科	旧名瀬市
61年	竹山　幸代	家政科	旧名瀬市
〃	吉田　早苗	家政科	旧名瀬市
〃	吉田あとう（7才）		
〃	吉田　るい（5才）		
〃	石丸　淳子	家政科	旧名瀬市
63年	森山　真人	商業科	大和村
H3年	城　美紀	商業科	旧名瀬市
〃	城　菜々花（7才）		
〃	城　陽菜（4才）		
H7年	永井　珠海	商業科	旧笠利町
〃	永井つむぎ（9才）		
〃	永井　海聖（7才）		
〃	永井　三瑚（3才）		
〃	松元めぐみ（安　陵　会）		
H14年	奥　真汐	情報処理科	旧笠利町
〃	鈴木みどり	鹿児島市おはら連メンバー	
〃	古川　弘子	鹿児島市おはら連メンバー	

◇ 定時制 <東京ともしび会>

28年	竹　時雄	商業科	旧笠利町
31年	和田　純男	商業科	龍郷町
〃	永井　常義	普通科	与論町
33年	小勝　竹雄	商業科	旧名瀬市
35年	高橋美奈子	商業科	旧笠利町
〃	森山　好道	商業科	旧笠利町
〃	栄　治	普通科	宇検村
37年	赤崎　義海	普通科	伊仙町
38年	岩切　文三	機械科	龍郷町
40年	田原　昇	機械科	瀬戸内町
41年	昇　勝美	機械科	旧名瀬市

東京配田ヶ丘同窓会の活動

東京配田ケ丘同窓会は下記の活動を行っています。

毎年４月……定期総会・懇親会　　**５月**……「渋谷・鹿児島おはら祭り」への参加

その他、島の味覚を味わう会等もあります。皆様のご参加をお待ち申しあげます。

1．女性部の主な活動　　女性部長：久澤　良子副会長、副部長：米田　リエ子幹事

(1)「**配田ヶ丘八月踊りの今**」

学校で仲間と一緒に練習した、伝統の「配田ヶ丘八月踊り」を東京でも更に練習を重ね、和気あいあいと楽しみつつ、お互いの親睦をはかっています。

又、毎年４月に行われる配田ヶ丘同窓会、５月下旬の「東十条小学校、運動会」秋の「東京奄美会の芸能祭」「青年部の運動会」等々、奄美関連の行事に練習の成果を発揮しています。

練習は「東十条小学校」で行っています。日程については、ホームページをご覧になるか、下記の東京配田ヶ丘同窓会幹事長へお問い合わせ下さい。どなたでも、大歓迎です。

(2)　**渋谷、鹿児島おはら祭りへの参加**

今まで「東京奄美会女性部」で参加し、数々の賞をいただいてきました。11 回目の今年は、配田ヶ丘同窓会の更なる知名度アップと活性化を目指し独自の連を結成し参加します。

皆さんの提案「家族ぐるみでの親睦をはかる」事をスローガンに、メンバーを募り本番（5 月 18 日）に向けて練習を開始しました。皆様のご参加をお待ちしております。

尚、当会の独自の連を結成につきましては、「東京奄美会女性部の役員の皆様」に事前に主旨の説明とご理解のお願いを致しました結果、ご快諾をいただきました。参加される方は、個人の意思により、当会の連あるいは他の連を選択してください。奄美の連が共に発展していく事を願っております。

27 日の同窓会にて、「おはら節」「ハンヤ節」「渋谷音頭」を踊る予定です。

連長：蝦名　和代　　副連立：初谷　百合子

(3)　島の味覚を味わう集い……会場「東十条小学校」日程……未定

奄美の食材、伝統料理（お菓子、餅、飲み物など）懐かしい味に触れ、次世代に繋げていきましょう。

作り方を、教えてもらいましょう。一緒に美味しく味わいましょう。

2.「就職相談室」

室員は室長の和田東京配田ヶ丘同窓会会長のもと、会員である企業の社長やマスコミ、司法や人事コンサルタント等のメンバーから構成されています。

会員の転職相談等についてカウンセリングを行い、仕事上の悩み等に適切で公平なアドバイスを行い、今後のキャリアプランの構築等を助言します。

ご相談は無料で、個人情報の守秘義務に徹しています。

窓口は同じく、下記の東京配田ヶ丘同窓会の幹事長です。

3.「東京配田ヶ丘ホームページ」

東京配田ヶ丘同窓会や母校，全国の配田ヶ丘同窓会そして郷里の奄美等の様々な情報を掲載し、当会の日的である会員相互の親睦をより一層深めていくことを目的として開設しています。

URL：　http：//www4.plala.or.jp/haidagaoka/

お問い合わせ先あるいは相談窓口　東京配田ヶ丘同窓会幹事長　弓削　省三

TEL & FAX：048 － 884 － 5558　　Emai:suge 2004@ybb.ne.jo

祝　第八回東京配田ヶ丘同窓会

東京配田ヶ丘同窓会顧問
東十条小学校学校評議員

山　下　心　一

〒284-0025
千葉県四街道市さちが丘２－５－５
電　話　０４３－４２４－０３７３
携　帯　０９０－８８１７－５１８７

東京配田ヶ丘同窓会　副会長
東京ともしび会(定時制)顧問

小　勝　竹　雄

（奄美市名瀬・名瀬勝出身）

〒191-0052
東京都日野市東豊田１－27－３
電話・FAX　042－583－0695
携　帯　090－1034－9663

日東商船株式会社

代表取締役　**西　田　富士雄**

〒105-0012
東京都港区芝大門１-２-７(阿藤ビル601)
☎　(03) ５７７７－１２３９
ＦＡＸ (03) ５７７７－１６７４
IP/TEL　050－3343－4128

村田電工有限会社

取締役　**村　田　三千穂**

〒202-0001
西東京市ひばりが丘４-２-９
ＴＥＬ　042－４２３－０１５１
ＦＡＸ　042－４２３－６１６３
hibari @ fd6.so-net.ne.jp

ブライダル・イベントの総合プロデュース

有限会社　ジイ・アンサー

代表取締役　**永　野　　章**

（大和村思勝出身）

本　社　〒150-0013
渋谷区恵比寿１-８-３-801
TEL　03（5421）３４５１
FAX　03（5421）３４５４

支　社　〒232-0035
横浜市南区平楽32－18
TEL　045（3500）9873

特定非営利活動法人
全国万引犯罪防止機構

普及推進委員　**森山好道**

〒160-0004
東京都新宿区四谷１-２-３
ＴＥＬ　０３－３３５５－２３２２
携帯　０９０－９２９０－４３８５

祝　第八回東京配田ヶ丘同窓会

DKC ダイヤル興業株式会社

代表取締役　**村　田　健**

（与論町出身）

〒171－0043
東京都豊島区要町2－14－11
TEL　03－3955－9365(代)
FAX　03－3955－9367

安心と信頼のクリーニング
有限会社　東洋ランドリー

会　長　**福　永　満**

（与論町出身）

会社　〒351－0025
埼玉県朝霞市三原2－7－26
電話・FAX 048－461－2716
自宅　〒351－0025
埼玉県朝霞市三原1－22－29
電　話 048－466－3050

奄美市名瀬出身の皆さんへ

東京名瀬会総会へのご出席をお待ちしております

6月8日(日)正午12時：目黒さつき会館

東京名瀬会

会　長　久保　倫子　　女性部長　久留えき子
幹事長　中濱　寛　　青年部長　高田　秀輝
会計長　森垣　眸　　外役員・会員一同

連絡先　〒157－0062
東京都世田谷区北烏山3－14－17（中濱幹事長）
電　話　03－3326－8216

唄って癒しの小店

新橋　とし子

〒105－0004
東京都港区新橋3－11－5
新橋協同ビル2階
電話　03－5401－1540
携帯090－9143－2771

＊ご来店お待ち申し上げて居ります。　店主

太平印刷

平山芳孝（和泊町出身）

〒142－0043
東京都品川区二葉1－17－16
TEL 03－3781－7637
FAX 03－3781－1414

昭和41年卒　機械科

富田浩吉

（伊仙町出身）

祝　第八回東京配田ヶ丘同窓会

ふるさと帰省・格安旅行

（　）は正規の羽田～各地間の往復航空運賃

奄美大島	40,800～108,800	(83,400)
喜界島	65,200～133,200	(88,100)
徳之島	54,800～131,800	(92,000)
沖永良部	57,800～132,800	(94,100)
ヨロン	45,800～103,800	(94,900)
鹿児島	26,000～ 75,200	(70,200)
沖縄	22,800～ 57,300	(67,800)
宮崎	24,800～ 72,600	(73,800)

『シマとヤマトの掛け橋』

奄美旅行センター東京営業所

〒171-0043（鹿児島知事第2-132号）
東京都豊島区要町2－14－11
☎　03－5965－1281
FAX 03－5965－1285

大　阪 ☎ 06－6300－1791　　名　瀬 ☎ 0997－54－3410
沖永良部 ☎ 0997－93－3001　　与　論 ☎ 0997－97－3261

学校教材用地球儀・天球儀・製作
ＪＡ奄美かけろまきび酢普及会本部

株式会社　サ　カ　リ

代表取締役　佐々木　国　雄
（旧笠利町土盛出身）
取　締　役　佐々木　紀美子
（旧姓 藤井 旧名瀬市出身）

本　社 〒277-0902
千葉県柏市大井808－6
TEL. 04-7191-1589 FAX. 04-7191-0835
東京営業所：東京都千代田区神田佐久間町3－5
沖縄営業所：沖縄県宜野湾市我如古3-15-27
東北営業所：仙台市宮城野区大梶3－20－606

株式会社大進電機

代表取締役社長　與倉　利秀
與倉美智子（旧姓 郡）
（旧住用村出身、実業高校37年卒）

●本　　社／〒207-0031
東京都東大和市奈良橋1-633-3
ＴＥＬ（042）564－4400
ＦＡＸ（042）564－3138

●埼玉営業所／〒358-0014
埼玉県人間市宮寺2794－5
☎　042－934－4400

警視庁指定工場　東京都陸運局優良特認工場

やよい会

昭和33年卒　家庭科一組

赤崎八重子　　中井　良子
白土　晶子　　福島　和子
豊山　董枝　　福田　弘子
中村　長子　　久澤　良子
中島ヒサ子　　政本　光江

里味

鈴　木　竹　子

〒114-0001
北区東十条3－17－8
Tel　03－3391－3975

祝　第八回東京配田ヶ丘同窓会

昭和 29 年卒　普通科 **我　謝　みどり** （与論町出身）	昭和 29 年卒　家庭科 **金　井　洋　子** （宇検村出身）
昭和 29 年卒　家庭科 **稲　留　ヨシ子** （旧名瀬市出身）	昭和 33 年卒　家庭科 **久　澤　良　子** （旧笠利町出身）
昭和 38 年卒　家庭科 **蝦（エビ）名（ナ）和　代** （旧名瀬市出身）	**昇　勝　美** （旧名瀬市出身） 〒140-0003 品川区八潮5-1-1-704 TEL/FAX　03 － 3799 － 2068 携　帯　090 － 2458 － 4570
昭和 38 年卒　定時制機械科 **岩　切　文　三** （龍郷町／旧名瀬市出身）	昭和 47 年卒　商業科 **米　田　リエ子** （旧名瀬市出身）
昭和 35 年卒　商業科 **高　橋　美奈子** （旧笠利町出身）	昭和 43 年卒　機械科 **森　元　　耕** （旧名瀬市出身）
昭和 45 年　家政科 **初　谷　由利子** （旧名瀬市出身）	昭和 48 年　家庭科 **中　野　保志乃** （旧名瀬市出身）
昭和 45 年　家政科 **向　　百　代** （旧名瀬市出身）	昭和 53 年　家庭科 **前　田　美智子** （旧名瀬市出身）

祝　第八回東京配田ヶ丘同窓会

元 東京瀬戸内会　会　長
元 東京奄美会　幹事長

稲　留　保　久

（昭和 29 年卒　農業科）

現住所　　大島郡瀬戸内町瀬武

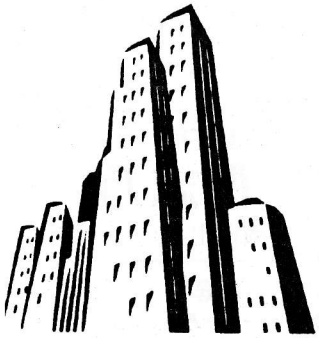
昭和 42 年　電気科 **要　博　文** （宇検村出身）	昭和 44 年　電気科 **中　村　保** （旧名瀬市出身）
昭和 45 年　電気科 **山　田　健　一** （旧笠利町出身）	

一般建設業許可　東京都知事許可（般－19）第 22247 号
産業廃棄物収集運送業許可 許可番号 第 13－00－124561号
宅地建物取引業　東京都知事免許　（1）　第 83682 号

株式会社　八　光　建　設

代表取締役社長　**奥　田　義　光**

（大和村大棚出身）



■本　　社　〒 173－0004
東京都板橋区板橋 1 － 48 － 17　今井ビル 4F
TEL　03－5375－5811　FAX　03－5375－5060
■松戸支店　〒 271－0068
千葉県松戸市古ヶ崎 4 － 3468 － 105 号
TEL　047－363－8512　FAX　047－366－0856
ULR : http://www.hachiko-k. com

祝　第八回東京配田ヶ丘同窓会

名瀬高等学校・大島実業高等学校・奄美高等学校
～ 定時制に在籍した方と卒業生のOB会 ～

東京ともしび会（定時制）

顧　問	直島　豊茂（S30年卒）	相談役	城　　一雄（S31年卒）	幹　事	滝沢　輝子（S35年卒）
顧　問	大木　　忍（S30年卒）	会　長	森山　好道（S35年卒）	幹　事	川畑　信和（S35年卒）
顧　問	竹　　時雄（S28年卒）	会計長	高橋美奈子（S35年卒）	幹　事	三井タエ子（S37年卒）
顧　問	英岡　　登（S30年卒）	会計監査	栄　　幸喜（S34年卒）	幹　事	岩切　文三（S38年卒）
顧　問	和田　純男（S32年卒）	幹事長	奥田　義光（S42年卒）	幹　事	田原　　昇（S40年卒）
顧　問	小勝　竹雄（S33年卒）	副幹事長	赤崎　義海（S37年卒）	幹　事	昇　　勝美（S41年卒）
相談役	竹本　　登（S31年卒）	幹　事	栄　　礼子（S35年卒）	幹　事	三谷ユミ子（S41年卒）

連絡先　〒271－0064　千葉県松戸市上本郷867－2－202（奥田幹事長）
電　話　047－363－9408

東京配田ヶ丘同窓会　幹事長
東京名瀬町会会員
東京名瀬会会員
ＰＭＣ（外資系人事部長の会）member

弓削省三

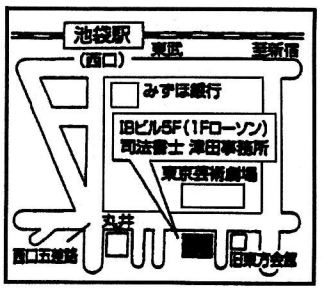
昭和38年卒　機械科（旧名瀬市出身）

〒336－0017 さいたま市南区南浦和2-1-8-1001
Tel・Fax　048－884－5558
Mobil　090－7179－8604
e-mail　syuge-2004@ybb.ne.jp

★登記手続代理（相続・抵当権・会社設立等）★簡易裁判所訴訟代理★成年後見

津田和紀 司法書士事務所

〒171－0021 東京都豊島区西池袋3－25－15I
IBビル5階（池袋西口・東京芸術劇場西側）
☎（03）5953－5621
FAX（03）5953－5622
E-meil：tsudakz@interlink.or.jp
大島実業　昭和42年卒　電気科　徳之島出身



祝　第八回東京配田ヶ丘同窓会

精密電子部品製造加工　モールド成形　金型設計製作

有限会社 宝村製作所

代表取締役 宝　村　晃　永

前関東宇検村会会長

会　社　〒152-0034　東京都目黒区緑ヶ丘３－７－12
TEL　０３－３７２８－４４６２
FAX　０３－３７２８－４４３４
自　宅　〒146-0092　東京都大田区下丸子２-14-３-402
TEL　０３－３７５６－３２１９

東京配田ヶ丘同窓会　会長

和　田　純　男

（龍郷町出身）

〒181-0014　東京都三鷹市野崎２－14－４
Tel／Fax　0422－31－3610
携帯　090－5792－8663
sumiowada @ parkcity.ne.jp

祝　第八回東京配田ヶ丘同窓会

郷土の益々の発展を祈念致します

東京都知事許可（般－12）第102680号

東京労働局長許可第18号

社団法人日本クレーン協会東京支部会員　第2号

— 設計・製作・施工 —

株式会社 東京輸送機

代表取締役　平　　勝利

営業種目

超高層ビル自動ゴンドラ、有人ゴンドラ、エレベーター
ダムウエター、メンテナンス、改修工事

〒124－0012　東京都葛飾区立石2－34－5
TEL　03－3691－9816（代）
FAX　03－3693－4274

奄美出身者　泉　千尋（大　熊）　中野晴夫（仲勝）
平　良樹（奄美市）　永井裕志（宇宿）